



令和6年度

文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

（一社）絆スポーツクラブ萩

1.自治体の基本情報



基本情報

面積	698.9 km ²
人口	41,637人 ※令和6年12月末日
公立中学校数	13校
公立中学校生徒数	845人 ※令和6年12月末日
部活動数	13 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済 (萩市部活動改革推進会議)
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	萩市における中学校部活動の地域移行にかかる改革スケジュールを策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

・文化部活動においては、新たな価値（学びや体験）の創出や子供たちの多様な体験機会を確保する観点から、地域クラブ活動として文化活動体験メニューを用意して、地域の指導者を学校や公民館等へ派遣する取組を実施。

・本市の文化芸術関係の指導者は高齢化が進んでいる。

・本市の、教職員に対し地域クラブ移行に際し、兼職兼業届を提出し地域クラブの指導者として関わっていただけるか調査を実施したが、83%の教職員が関わるのが難しいと回答し、指導者の確保に苦慮している。

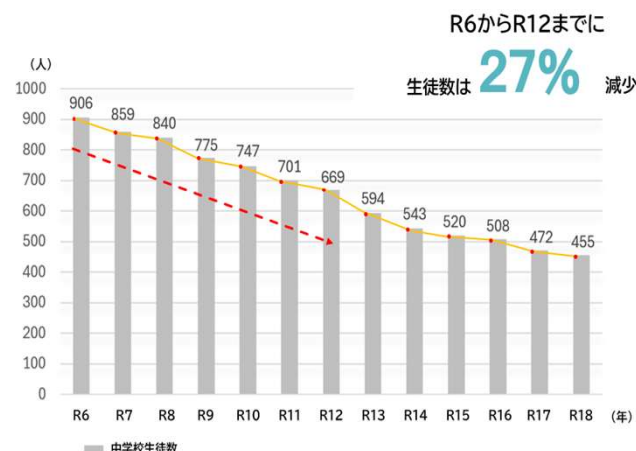
・本市は少子化が著しく、15歳未満の割合は、人口の8.0%（令和5年9月末日現在の住民基本台帳）まで低下している。

・少子化による学級数の減少、部活動においても、団体競技が難しく、地域クラブ活動の受け皿の創出が課題。

・受け皿の拡充として、特に吹奏楽について、楽器保管庫、楽器の移動、指導者の確保等課題が山積している。

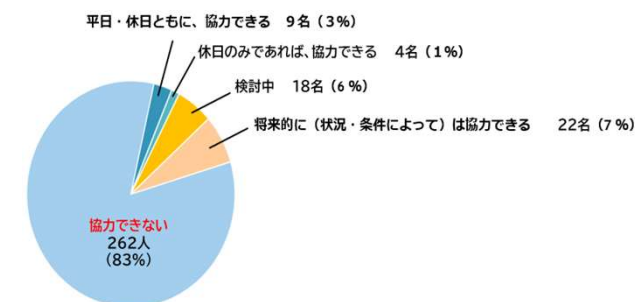
・本市は広域であり、島嶼部もあるため、地域クラブの活動場所までの移動手段が確立できていない。

【萩市における中学校生徒数の見込み】



【萩市における中学校生徒数の見込み】

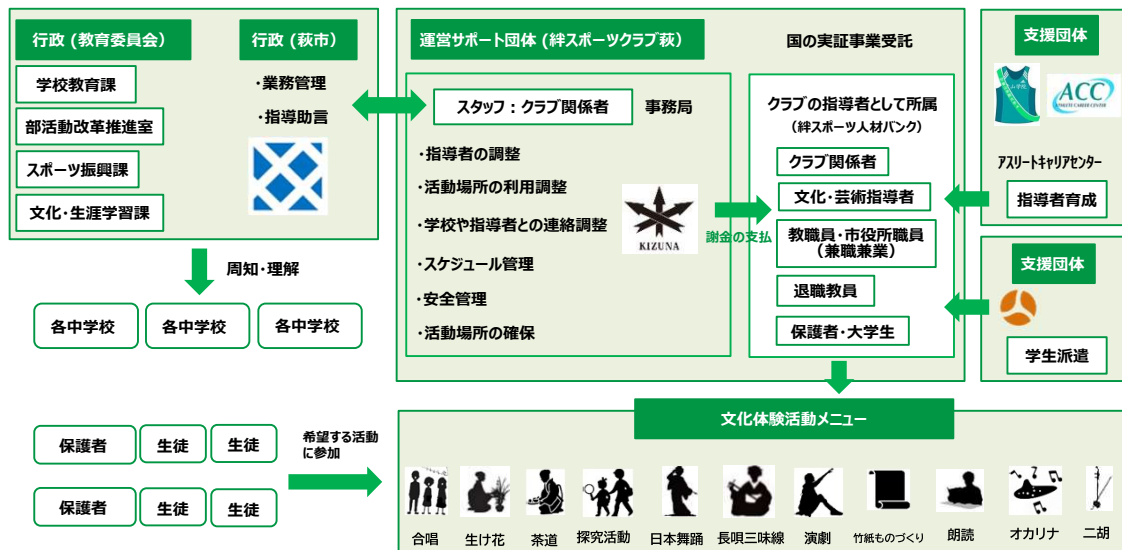
Q.教職員のに兼職兼業により地域クラブに関わってもらえるか調査
教職員 340名中 315名が回答



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（学校教育課、部活動改革推進室、スポーツ振興課、文化・生涯学習課）

- ・学校教育課 各学校、学校運営協議会、保護者等との協議
- ・部活動改革推進室 各種調整、部活動改革推進室事務局
- ・スポーツ振興課 萩市体育協会、社会スポーツ団体、スポーツ少年団等のスポーツ団体との協議、調整
- ・文化・生涯学習課 萩市文化協会との協議調整

◎首長部局 教育委員会への助言

●外部（協力団体）の役割分担

- ・絆スポーツクラブ萩 地域クラブの運営、体験会の開催、指導者研修会

年間の事業スケジュール

令和6年4月	萩市教育委員会内に、「部活動改革推進室」の設置 文化体験活動メニューの募集
令和6年5月	文化体験活動メニューの開始
令和6年6月	萩市議会6月定例会 一般質問
令和6年7月	第8回 部活動改革推進会議 アドバイザー招聘（スポーツ庁）
令和6年9月	萩市議会9月定例会 一般質問
令和6年10月	地域移行に関するアンケートの実施 指導者育成研修会の開催
令和6年11月	地域移行に関するアンケートの実施
令和6年12月	萩市議会12月定例会 一般質問 保護者説明会の実施
令和7年1月	第9回 部活動改革推進会議

2.実証内容と成果



地域文化クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	13校	実施した地域クラブ総数	12クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0部活
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		12 クラブ
全体の指導者数	18 人	全体の運営スタッフ数	18 人

②各クラブに関すること（文化体験活動メニュー）

クラブ名	実施回数	実施時間帯	参加者	実施期間	活動場所	指導者数	会費
美術（絵画・デッサン）	全11回	10:00～12:00	4名（小学校 2名 中学校 2名）	R6.5月～	公民館	1人	無料
生け花	全9回	10:00～12:00	4名（中学校 4名）	R6.5月～	市民館	1人	無料
茶道	全10回	10:00～12:00	6名（中学校 6名）	R6.5月～	市民館	2人	無料
探究活動体験	全2回	13:00～16:00	3名（中学校 3名）	R6.5月～	明倫学舎	1人	無料
演劇	全11回	10:00～12:00	3名（中学校 3名）	R6.5月～	公民館	1人	無料
竹紙ものづくり	全9回	10:00～12:00	2名（中学校 2名）	R6.5月～	市民館	1人	無料
合唱	全11回	9:30～11:30	12名（小学校 10名 中学校2名）	R6.5月～	市民館	3人	無料
日本舞踊	全12回	10:00～12:00	3名（中学校 3名）	R6.5月～	市民館	4人	無料
長唄三味線	全6回	10:00～12:00	1名（中学校 1名）	R6.5月～	市民館	1人	無料
朗読	全11回	17:30～18:30	1名（中学校 1名）	R6.12月～	市民館・オンライン	1人	無料

③体験会

染物体験	2回/年	14:00～16:00	20名（小学校 10名 中学校10名）	R7.2月	店舗	1人	無料
------	------	-------------	---------------------	-------	----	----	----

2.実証内容と成果

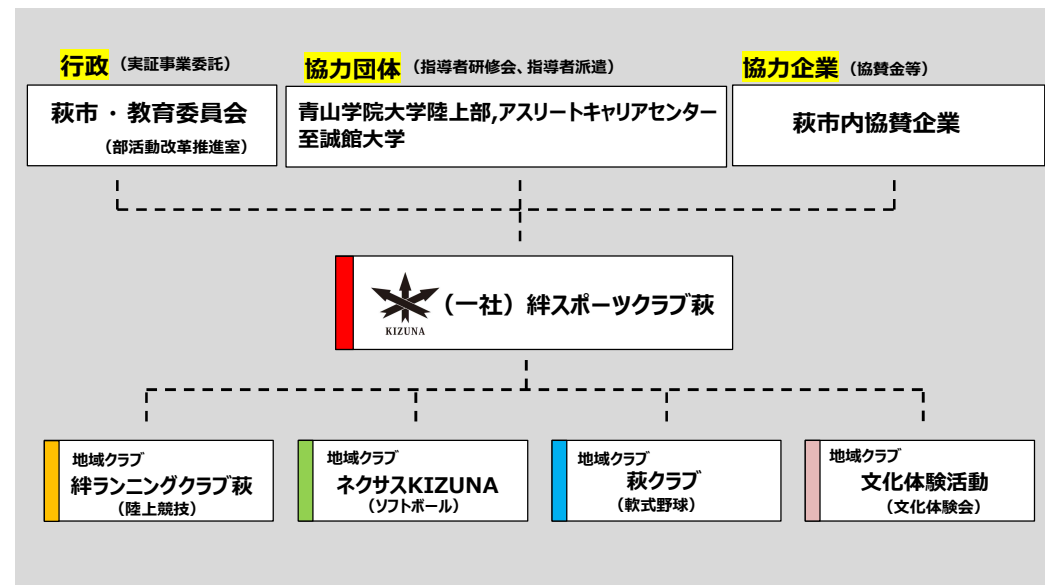


主な取組例

文化体験活動メニュー、体験会 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	美術（絵画・デッサン）・生け花・茶道・探究活動体験・演劇・竹紙ものづくり・合唱・日本舞踊・長唄三味線・朗読・染物体験
運営団体名	（一社）絆スポーツクラブ萩
期間と日数	R6.5月～R7.4月～
指導者の主な属性	人材バンク登録者
活動場所	市民館、公民館等
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者による移送
1人あたりの参加会費等（年額）	無料（材料代、保険代 実費）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括（絆スポーツクラブ萩） 10名
役割：各クラブの指導者が理事となり、理事会等により情報共有を行う
絆スポーツクラブ萩の事務員（コーディネーター）が指導者や会場の調整を行う。
- 指導者
役割：地域クラブ活動の指導

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

・萩市では、「総括コーディネーター」と「地域クラブコーディネーター」の2名を配置。それぞれの役割を分けて業務を実施した。

・運営支援アプリを開発・導入し、地域クラブの運営に使用。（練習日誌等）



教育委員会に2名配置

取組の成果

《総括コーディネーター：退職中学校長》

主な業務：学校との連絡調整、各種説明会への参加（校長会、各競技団体、保護者カフェ等）、CS1プロジェクトの調整

《地域クラブコーディネーター：退職学校教員》

主な業務：地域クラブ（絆スポーツクラブ萩）事務局、謝金計算、施設予約、指導者連絡調整、保険加入手続き 等



保護者カフェでの説明



新入者説明会



コーディネーターの具体的な動きの実績

〔学校との連絡調整〕

・定期的に市内（13校）校長を訪問・電話し、取組状況の聞取を実施（毎月1回以上）

〔各種協議や説明会〕

・市内競技団体との協議（11種目）、保護者カフェ参加（3回）、校長会（6回）

〔CS1プロジェクトの立ち上げに向けて〕

・各中学校区（13校）協議、調整を行った。

※各中学校区で地域の「ひと・こと・もの」を生かした生徒の活動の場を創出するもの。
体力づくりやレク活動、地域理解を深める活動、地域貢献活動 等

今後の課題と対応方針

《総括コーディネーター》

- ・部活動に代わる地域クラブの拡充（生徒の活動の場の保証）
- ・部活動改革の周知（小中学校、教職員、児童、生徒）
- ・地域らしさを生かしたCS1プロジェクトの立ち上げ
- ・地域人材、資源の積極的活用（予算の確保）

《地域クラブコーディネーター》

- ・地域クラブ（運営団体・実施主体）をまとめていく組織の設立
- ・地域クラブ活動に参加する子供たちを、将来的に地域クラブ活動を担う人材として育成していくこと（事務局含）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

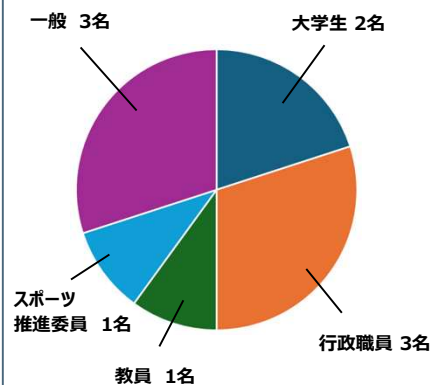
「クラブコーチ育成研修会」の開催

「青山学院大学陸上部」と「一般社団法人アスリートキャリアセンター」が共同で開発した「クラブコーチ育成研修会」を令和5年度に引き続き開催した。

今年度は、10名が受講し、研修会を受講した指導者が、クラブの指導を行った。令和5年度に受講した参加者を対象に「フォローアップ研修会」を開催し、学び直しの機会を設定した。

※「クラブコーチ育成研修会」とは、箱根駅伝優勝常連校である、青山学院大学陸上部 原晋監督が、指導の中で培った「チームマネジメント手法」と「正しく安全な運動指導」の要素をカリキュラムとしてまとめた研修会。

研修会の様子・参加者属性



クラブコーチ育成研修会の様子

取組の成果・課題

【取組の成果】

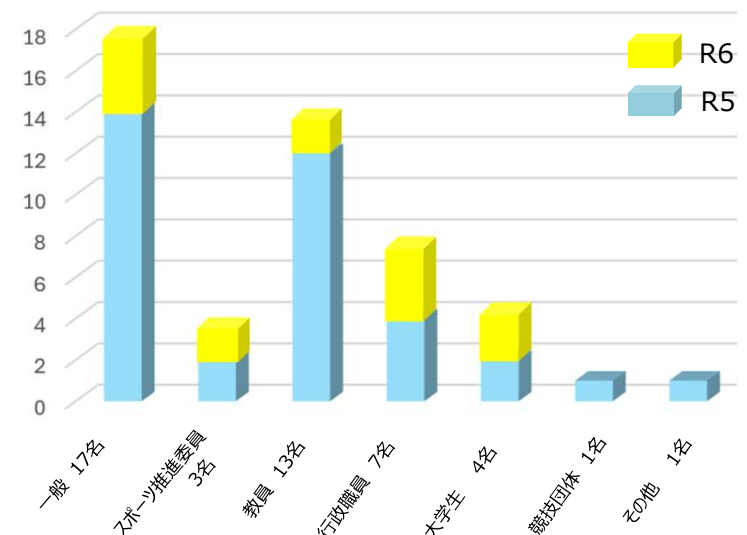
「青山学院大学陸上部」と「一般社団法人アスリートキャリアセンター」が共同で開発した「クラブコーチ育成研修会」を令和5年度から開催し、合計46名が受講した。

研修会を学んだ指導者が、地域クラブの指導や体験会の指導を行い、安心・安全に指導できる体制整備を行った。

令和5年度は2日間連続の開催であったが、令和6年度においては、オンライン研修（3日間）と現地研修（1日間）に分けて開催することにより、参加者に参加しやすい環境を整えた。

【取組の課題】

「クラブコーチ育成研修会」を令和5年度から開催しているが、スポーツ関連の指導者の受講はあるが、文化・芸術関連の指導者は、専門性が強く、受講がない。ただし、学校教員に変わる指導者の育成確保は今後も重要となることから引き続き内容の一部見直し等も図りながら継続していきたい。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

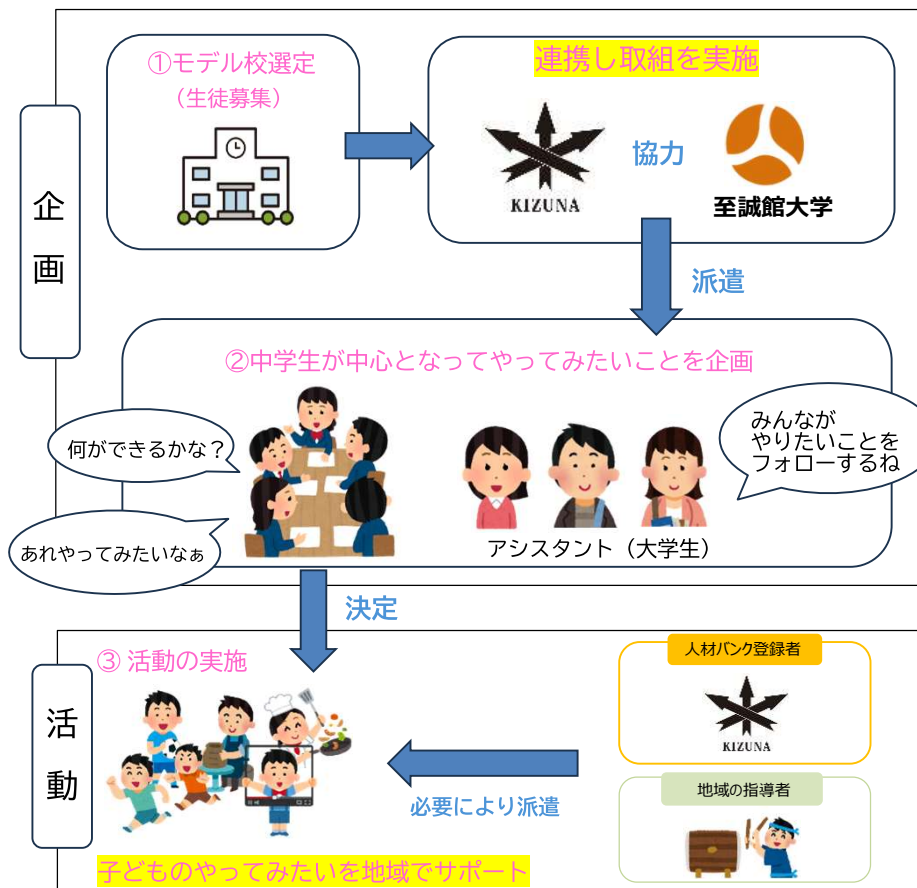


取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項/イメージ図

中学生の「やってみたい」に応えるため、絆スポーツクラブ萩及び至誠館大学が、平日の放課後の活動を見越した実証として、生徒と企画から実施までを一体となって行う取組を実施。
多世代との交流や、自主的で、自発的な活動を通して地域社会に参画する機会を創出することを目的に、子どもの新たな居場所づくりに取組んだ。



取組の成果 《令和6年度 モデル2校の取組》

《第1回目》自己紹介とやりたい事の確認 (洗出し)



対象生徒：24名 ※小学校5, 6年生 + 中学校1, 2年生
スタッフ：大学生 (3年生) 3名

《第2回目》実施種目・活動内容の決定



〔実施種目・活動〕
・漬物づくり

《第3回目》活動の準備 (交渉)



・指導者の確保

《第4回目》活動の実施



・地域指導者を招いて指導を依頼 (実施)
地域全体で、子どもたちの「やってみたい」をサポート

今後の課題と対応方針

〔成果〕

- ・大学生やスタッフとの関係構築が図れ、多世代交流を実施できた。
- ・教員免許状取得を目指す大学生にとって、中学生と交流することで良い経験を積めた
- ・生徒同士で様々な意見を出し合い、「やってみたい」活動の創出から実施までができた。

〔課題、対応方針〕

- ・次年度以降も、事業を継続していきたいが、学生の派遣頻度、学校の選定 (広域で講師、スタッフの移動時間) 等に課題がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

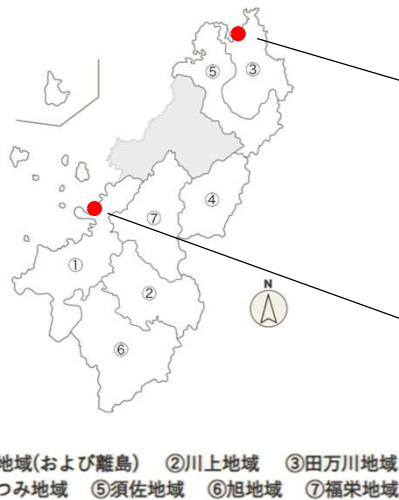


取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

萩市は広範囲（萩エリア・川上、旭エリア・田万川、須佐エリア・むつみ、福栄エリア）にわたるため、生徒の移動手段を軽減するため、市内中心部外でも地域で活動が出来るよう（R6は演劇、美術）指導者を派遣して実施した。



【演劇】



【美術】



今後の課題と対応方針

- ・文化体験活動メニューを設定したが、多くの活動は市中心地となってしまっているが、2活動（美術、演劇）については地域の生徒が参加できるよう指導者が地域に出向いて活動を開催した。
- ・須佐、田万川エリアについては市内中心地から会場まで、移動時間が約60分かかるため、移動方法や保護者に負担がかかるため、今後、地域で指導者、活動を発掘していく必要がある。
- ・文化体験活動については、活動の機会提供、興味関心の獲得を目的としており、取組の成果発表の場を提供できたことは生徒にとってもより深く学んでいきたいと感じていただく機会となった。メニューの提供もだが成果発表の機会も併せて検討をしていく。

取組の成果

作品の展示（発表） 文化体験メニュー作品を各所で展示を行い、成果発表に繋がった。（美術）

■萩市美術展

期間：10月13日（日）～20日（日）
場所：萩・明倫学舎3号館2階
市民ギャラリー 大・小展示室
（ふれ愛ギャラリーぶらっと）

■大井ふるさとまつり

期間：11月3日（日）
場所：大井公民館

■世界遺産「明治日本の産業革命遺産」絵画展

期間：11月25日（月）～2月16日（日）
場所：萩・明倫学舎3号館2階
市民ギャラリー 大・小展示室
（ふれ愛ギャラリーぶらっと）



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

- ・令和6年度、萩市では「文化体験活動メニュー」として13の体験活動メニューを用意（申込は11活動）したが、様々な体験活動により子どもたちの「興味関心・意欲向上」を図っていくことが必要であることから、地元企業である岩川旗連に協力をいただき、「染物体験」を2回開催した。
- ・少子化が進行する中で、地域文化の継承と振興は重要な課題であり、今回、子どもたちが地域の特色のある文化芸術に主体的に参加したことは、部活動地域移行に関する「地域展開」、「地域連帯感」を強める事にも資する活動となった。
- ・今後、より地元企業、地元文化に触れる機会を提供し、地域文化の楽しさや感動、地域の人々の優しさに触れる機会を提供していきたい。



地元企業の協力



小・中学生が参加

活動の詳細

参加人数	20人	指導者数	1人
属性	市内伝統文化の体験		
具体的な内容	山口県萩市で100年続く染め物屋「岩川旗店」では、伝統の染技術を活かし「のれん」や「大漁旗」、「のぼり」を制作している。職人が、市内、小中学校生徒に対し体験の機会を提供することで子どもたちが伝統文化に触れる機会を提供した。		
参加者の声	・今回、初めて「染物」を体験しましたが、色々な色を使用して、自由に染めて楽しかったです。 ・体験会では、インクを生地に「塗る」と思っていたが、業界では、「塗る」はタブーで「染める」が正しいと教えてもらいました。 ・今回は、染めるのみでしたが、「鯛」の型取りは、地元の「菊が浜」の砂を活用されていてこういうところに地元の伝統文化を感じました。 ・このような体験会がもっともっとあればいいなと思いました。楽しかったです！		
運営経費	謝金：1600円/時間 ※2時間×2回 (準備や材料費等、企業の負担が大きい経費要件等)		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の内容、今後の課題 文化体験活動メニュー、体験会

令和6年度は、12種類の多様な「文化体験活動メニュー」「体験会」を用意し、多様な体験ができる機会の提供を行った。活動によっては募集を行っても、参加者が0名という活動もあり、子どものニーズ調査や、将来的に持続可能な活動を目指し、今後は会費徴収の在り方を検討していく必要がある。

体験活動メニュー

クラブ名	実施回数	実施時間帯	参加者	実施期間	活動場所	指導者数	会費
美術（絵画・デッサン）	全11回	10：00～12：00	4名（小学校2名 中学校2名）	R6.5月～	公民館	1人	無料
生け花	全9回	10：00～12：00	4名（中学校4名）	R6.5月～	市民館	1人	無料
茶道	全10回	10：00～12：00	6名（中学校6名）	R6.5月～	市民館	2人	無料
探究活動体験	全2回	13：00～16：00	3名（中学校3名）	R6.5月～	明倫学舎	1人	無料
演劇	全11回	10：00～12：00	3名（中学校3名）	R6.5月～	公民館	1人	無料
竹紙ものづくり	全9回	10：00～12：00	2名（中学校2名）	R6.5月～	市民館	1人	無料
合唱	全11回	9：30～11：30	12名（小学校10名 中学校2名）	R6.5月～	市民館	3人	無料
日本舞踊	全12回	10：00～12：00	3名（中学校3名）	R6.5月～	市民館	4人	無料
長唄三味線	全6回	10：00～12：00	1名（中学校1名）	R6.5月～	市民館	1人	無料
朗読	全11回	17：30～18：30	1名（中学校1名）	R6.12月～	市民館・オンライン	1人	無料
二胡	－	－	0名	－	－	－	－
オカリナ	－	－	0名	－	－	－	－

体験会

染物体験	2回/年	14:00～16:00	20名（小学校10名 中学校10名）	R7.2月	店舗	1人	無料
------	------	-------------	--------------------	-------	----	----	----

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

地域クラブに係る経費

令和6年度は萩市では「文化体験活動メニュー」と「体験会」として11の体験活動を行った。
地域クラブの運営には、運営スタッフ・指導者謝金、体験会に最低限必要な消耗品、（材料費）など、開催経費（イニシャルコスト）が必要となる。

また、施設使用料（冷暖房代）等も必要となってくることから、施設料の在り方（減免等）も今後検討していかなければならない。

この度は、公的資金100%であったが、地域クラブの持続的な活動を行うためには公的資金に頼りすぎないクラブの運営体制を構築していく必要がある

公的資金のみに頼る運営体制を改善していかなければならない。
次年度以降は、公的資金の割合を削減し、受益者負担による運営へ移行する実施用を図りたい。

収入

公的資金
100 %

支出

クラブ運営費 1.6%

クラブ活動費
98.4 %

コーディネーター費用

・指導者謝金
・クラブ活動消耗品

部活動の地域クラブ移行には持続可能な運営を実現させるためには、財源確保が必須であり、参加者からの会費徴収をしていかなければ、実施が難しい。民間企業からの寄付や、ふるさと納税を活用した取り組みを実施していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組 (CS1プロジェクト：コミュニティ・スポーツ文化クラブ・ワン)

取組事項

中学校区のコミュニティを活用し、学校や学校運営協議会、中学校区内に小中一貫指導を行う、生活圏で身近に活動できるスポーツ文化クラブの設立を目指す。多世代との交流を通して、子どもたちの人間形成の寄与に資する取り組みを行う。

現段階でのCS1の準備状況一覧

No.	校名	現段階での見込み	立ち上げのタイプ	活動内容等	活動日	備考
1	越ヶ浜中学校	立ち上げ可能	学校が主体となつての課外活動	○体力づくり ○スポーツに親しむ場	週3回	いずれは地域を巻き込んでの活動を想定
2	萩東中学校	現在、検討中	現在、検討中	○地域貢献活動・探究活動等	週1回程度	
3	萩西中学校	現在、検討中	現在、検討中	○地域との協働活動	月1～2回程度	
4	川上中学校	現在、検討中	未定	現在、検討中	未定	
5	田万川中学校	現在、検討中	現在、検討中	○ふるさと学習の深化充実 ○地域のよさを発信再発信	週1～2回	
6	むつみ中学校	現在、検討中	未定	現在、検討中	未定	
7	須佐中学校	現在、検討中	未定	現在、検討中	週1回程度	
8	旭中学校	現在、検討中	未定	現在、検討中	未定	校長の意向としては地域貢献活動
9	三見小中学校	現在、検討中	未定	○スポーツに親しむ場	週1～2回	
10	大井小中学校	現在、検討中	未定	現在、検討中	未定	校長の意向としては、地域のよさを発信する活動
11	大島小中学校	立ち上げ可能	学校が主体となつての課外活動	○体力づくり ○スポーツに親しむ場	週2回程度	
12	見島小中学校	立ち上げ可能	地域のスポーツ団体が主体	○卓球をとおしてスポーツに親しむ	週1回程度	
13	福栄小中学校	現在、活動している和太鼓教室をCS1として位置づけ	公民館事業として活動	○和太鼓の演奏	月2回程度	*「大板山たたら太鼓同好会」を伝統芸能の地域クラブ活動として募集

【R6取組】

総括コーディネーターを中心に、各学校、地域の公民館等を訪問し、調整、依頼を行った。

CS1プロジェクトでは、どこが主体となってこの取り組みを進めていくのか、どのように運営を行うのか明確なものなかったことから「ガイドライン」を策定。

《立ち上げのタイプを整理》

- ①地域の既存の組織を活用するタイプ
- ②公民館の活動を活用するタイプ
- ③学校が主体となり「課外活動」とするタイプ

取組の成果

- ・ガイドラインを策定し、これを基にコーディネーターがすべての学校の校長等と協議をもったことにより、立ち上げに向けて具体的に動き始めた。
- ・各中学校区が抱える課題や、学校が力を入れて取組みたい教育活動に対応したCS1の取組が考えられる。

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和6年度地域文化クラブ活動体制整備事業では、生徒の興味・関心・意欲向上を目的とした、12活動の文化体験活動メニューの提供、地域の伝統文化の体験会（染物体験）の開催、大学生を活用した、生徒の自主的・主体的な参加による企画活動など様々な活動を通じた実証を行った。

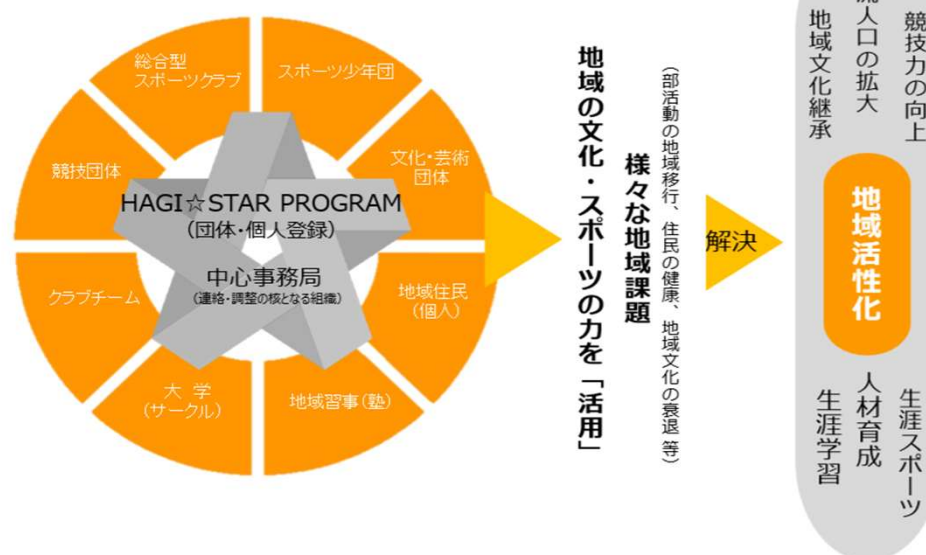
こうした背景には、これまで萩市では地域クラブの拡充を重点に置き、取組を進めてきたが、萩市は他市に比べ広域であり、少子高齢化も進行しているため、地域ではより、受け皿の確保や生徒の移動が難しいことから、地域クラブの拡充を行っていくことは重要なことではあるが、地域格差がより広がってしまうことが分かった。また、取組を進める中で、情報が正確に伝わっていないこと、地域クラブ移行に関する周知理解が広がっていないこと、市内の教員の8割が部活動の従事を望んでいないことが分かり、「地域移行」から「地域展開」への考え方を広げていかなければ、今後の取組が難しい状況が分かった。本市としても、これを踏まえ、少子・高齢化の中でも将来にわたり子ども達がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、必要な対応について、「部活動会改革推進会議」の中で協議し、令和8年4月からの休日地域クラブ活動への移行及び令和8年8月から平日を地域クラブ活動への移行について、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現、よりよい活動環境の創出を今後もしていかなければならない。

●成果の評価・今後に向けて

令和7年1月に開催した「第9回部活動改革推進会議」萩市の今後、目指していく新たな活動の場「HAGI ☆ STAR PROGRAM（ハギスタープログラム）」の方向性等の整理を行った。

今後の事業実施に当たって、「HAGI ☆ STAR PROGRAM」組織の基本的な考え方や実施内容を関係者により協議を重ね、「地域全体」で作り上げる「地域展開」を実施していく。令和7年度は、改革推進期間以降の、将来的な枠組みや運営方策の検討等を視野に入れて、地域クラブ活動の維持・運営に必要なコストや受益者負担等と公的資金の適切なバランスの検証、経済的困窮世帯への参加費用負担支援の金額・スキームの検証などの取組を検討していく。令和7年に開催される「部活動改革推進会議」では上記の方向性等を整理し、検討、協議していきたい。

新しい時代を切り拓く組織づくり



2.実証内容と成果②

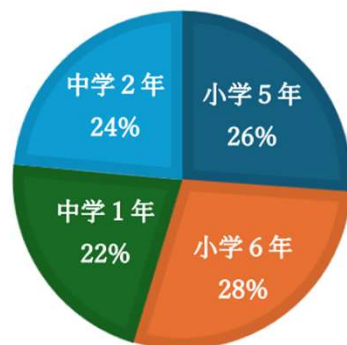


〔アンケート結果はこちら〕

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

調査対象：萩市立小学校5・6年生 551名
萩市立中学校1・2年生 538名



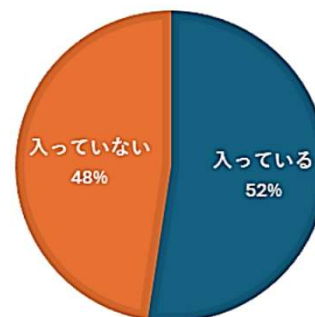
学年	在籍数	回答数	回答率
小学5年	265	211	79.6%
小学6年	286	229	80.1%
小学校合計	551	440	79.9%

学年	在籍数	回答数	回答率
中学1年	263	178	67.7%
中学2年	275	192	69.8%
中学校合計	538	370	68.8%

全体	在籍数	回答数	回答率
総計	1089	810	74.4%

あなたは、現在、スポーツまたは文化・芸術等の地域の活動（クラブチームやスポーツ少年団等を含む）に入っていますか。 ※学校部活動は含まない

■入っている ■入っていない



選択肢	人数
入っている	423
入っていない	387

選択肢	人数
入りたい	62
入りたいと思わない	192
迷っている	133

選択肢	人数
活動費がかかる	39
移動手段がない	47
時間がない	56
その他	28

学年	小5	小6	中1	中2
入っている	117	129	85	92
入っていない	94	100	93	100

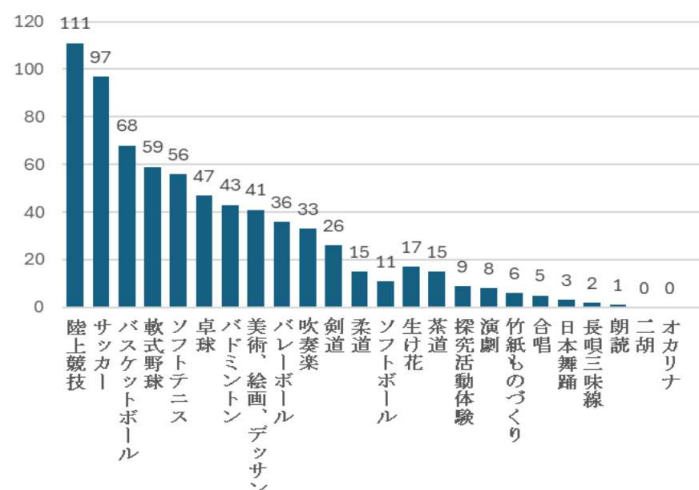
学年	小5	小6	中1	中2
入りたい	20	17	15	10
入りたいと思わない	39	43	43	67
迷っている	35	40	35	23

【その他の理由（抜粋）】

- ・自分の地域でできる種目が分からない
- ・他地域の人の関係性が不安、知り合いが少ない
- ・船で出てくるのが大変だから
- ・まだ種目を決めていない

など

どのような活動をしているか、してみたいか。（複数回答可）



自由記述の分類

- 児童生徒：自由記述回答数 194件/ 810件（記述率 24.0%）
- 保護者：自由記述回答数 344件/ 810件（記述率 42.5%）
- 合計：自由記述回答数 538件/1620件（記述率 33.2%）

【児童生徒】

項目	割合
受け皿	31.6%
活動の目的	15.3%
移動	14.4%
部活動の在り方	8.4%
練習時間・回数	8.4%
周知理解	7.4%
施設	3.7%
活動費用	2.3%
指導者	1.9%
スケジュール	1.4%
その他	5.1%

【保護者】

項目	割合
移動	29.8%
受け皿	20.9%
活動費用	12.6%
指導者	8.0%
練習時間・回数	7.0%
活動の目的	4.8%
部活動の在り方	3.7%
周知理解	3.0%
スケジュール	3.0%
施設	2.0%
その他	5.2%

【合計】

項目	割合
移動	24.9%
受け皿	24.3%
活動費用	9.3%
活動の目的	8.1%
練習時間・回数	7.4%
指導者	6.1%
部活動の在り方	5.2%
周知理解	4.4%
施設	2.5%
スケジュール	2.5%
その他	5.2%

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



美術（絵画・デッサン）



演劇



合唱



生け花



探究活動体験



竹紙ものづくり



茶道



長唄三味線



日本舞踊



染物体験

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

協議会設置、
検討開始

(移行スケジュールの決定)

令和5年

実証事業開始
指導者研修会
受け皿の拡充

関係団体、生徒、
保護者への説明

令和6年

実証事業開始
指導者研修会
受け皿の拡充

9月～

部活動活動日縮小の
取組
(4日間 → 3日間)

1月

第9回部活動会
推進会議
(スケジュールの見直し)

●ステークホルダー

学校、生徒、保護者協会、競技団体、文化団体、市教委、総括コーディネーター、コーディネーター、PTA連合会、市議会、至誠館大学、青山学院大学陸上部

●経過

- 令和5年度より部活動改革推進会議を設置。萩市、青山学院大学陸上部、(一社)アスリートキャリアセンター、(一社)絆スポーツクラブ萩の4社協定を締結し、部活動地域クラブ移行に係る取組を開始。
- 先行取組種目として、萩市内の陸上競技部の休日の学校部活動を廃止。
- 第7回部活動改革推進会議において、「萩市部活動改革のスケジュール」※を示した。
※令和8年4月から、休日の学校部活動を終了し、さらに8月の新チームからは、平日を含むすべての学校部活動を地域移行を目指す。
- 令和6年度より萩市教育委員会内に部活動改革推進室の設置、総括コーディネーターを配置し、cs1プロジェクト(コミュニティ・スポーツ文化・ワン)の取組を実施。
※中学校区のコミュニティに小中一貫指導を行う1つのスポーツクラブ設立により、生活圏内で身近で活動できるスポーツ、文化クラブの創設をめざす。
- 令和6年1月 第8回部活動改革推進会議を開催し、「萩市における部活動改革推進組織」について「地域クラブの認定要件について」の協議。
- 令和7年1月 第9回部活動改革推進会議を開催し、「萩市部活動改革のスケジュール」の一部見直し案を提案。

●実施内容

[令和6年度の主な取組]

- 体験活動メニュー(R6:12活動)の実施
- 令和7年度は、原則、すべての学校部活動で、平日の活動日は週3日以内とする。
- 大学との連携により、地域クラブが少ない周辺地域の中学校へ大学生を派遣し、「やってみたい」活動の創出や多世代との交流等、自主的で、自発的な活動を支援していく。(地域サポート活動)
- 10月 萩市内の小学校5,6年生、中学生1,2年生、またその保護者を対象にアンケート調査を実施。(回答数:小学校計440名/551名、中学校計370名/538名)
- 11月 萩市内学校教員に対し、兼職兼業に関する希望調査アンケートを実施(回答数:教員数計315名/340名、262名(83%)が協力できないと回答)

●実施にあたって生じた課題

- 原則クラブ化した種目について学校部活動としての大会参加はなし。
→ 秋の陸上新人大会について地域クラブで出場し、総合優勝を獲得した一方、生徒の出場選択の機会を奪っているのではないかと意見があった
- 令和7年度は、原則、すべての学校部活動で、平日の活動日は週3日以内とする。
→ 受け入れ団体確保の取組を実施する中で、部活動を縮小することは、生徒は行き場のない中、活動機会が奪われることとなるのではという意見があった。
※当初予定は、R7は部活動の平日の活動日は週2日とする予定としていたが、平日の活動日は週3日以内を継続することとなった。

●今後の展開

- 広域で島嶼部もあり、他市に比べて少子化が進行する萩市にとって、単に部活動を地域クラブに移行するのみでは、子ども達の多様なニーズを叶えていくことは難しいことが分かった。
- 「地域移行」が進まない理由の一つに、「情報が正確に伝わっていない」事が分かり、今後は「地域移行」から「地域展開」という多様な地域人材により、多様なスポーツ・文化芸術活動を通じて子どもたち一人ひとりが生涯にわたって、星のように輝くことができるよう「地域全体」でサポートする仕組みの構築が必要である。
- 萩市では、「地域全体」で子ども達をサポートする部活動に変わる「新たな活動の場」「HAGI ☆ STAR PROGRAM (ハギスタープログラム)」の取組を今後実施、展開する。

中学校部活動



- (例)
- 陸上競技部
 - 卓球部

様々な活動

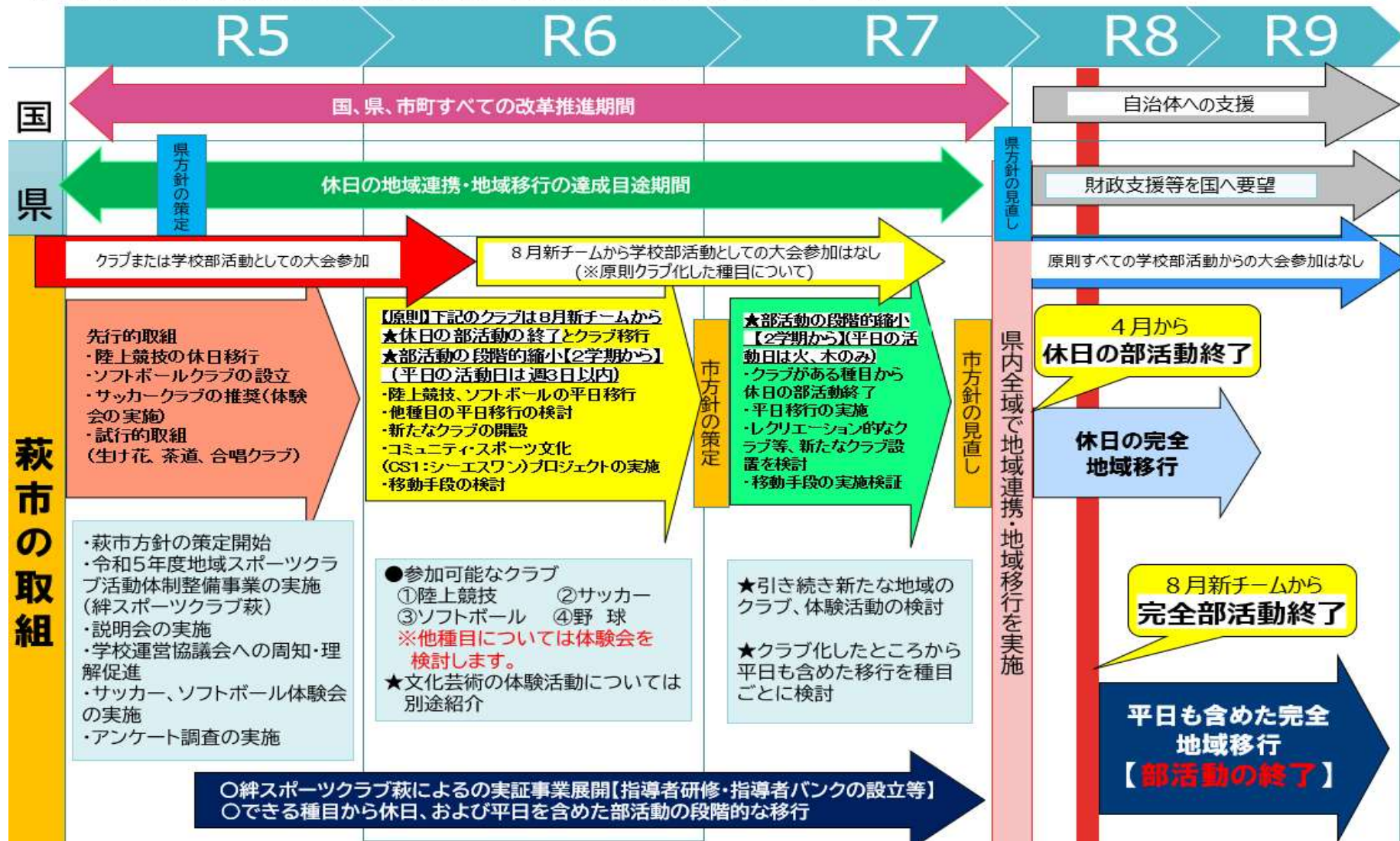


3.今後の方向性① (スケジュール)



地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ（第7回 部活動改革推進会議時策定）

中学校部活動の移行にかかる改革のスケジュール

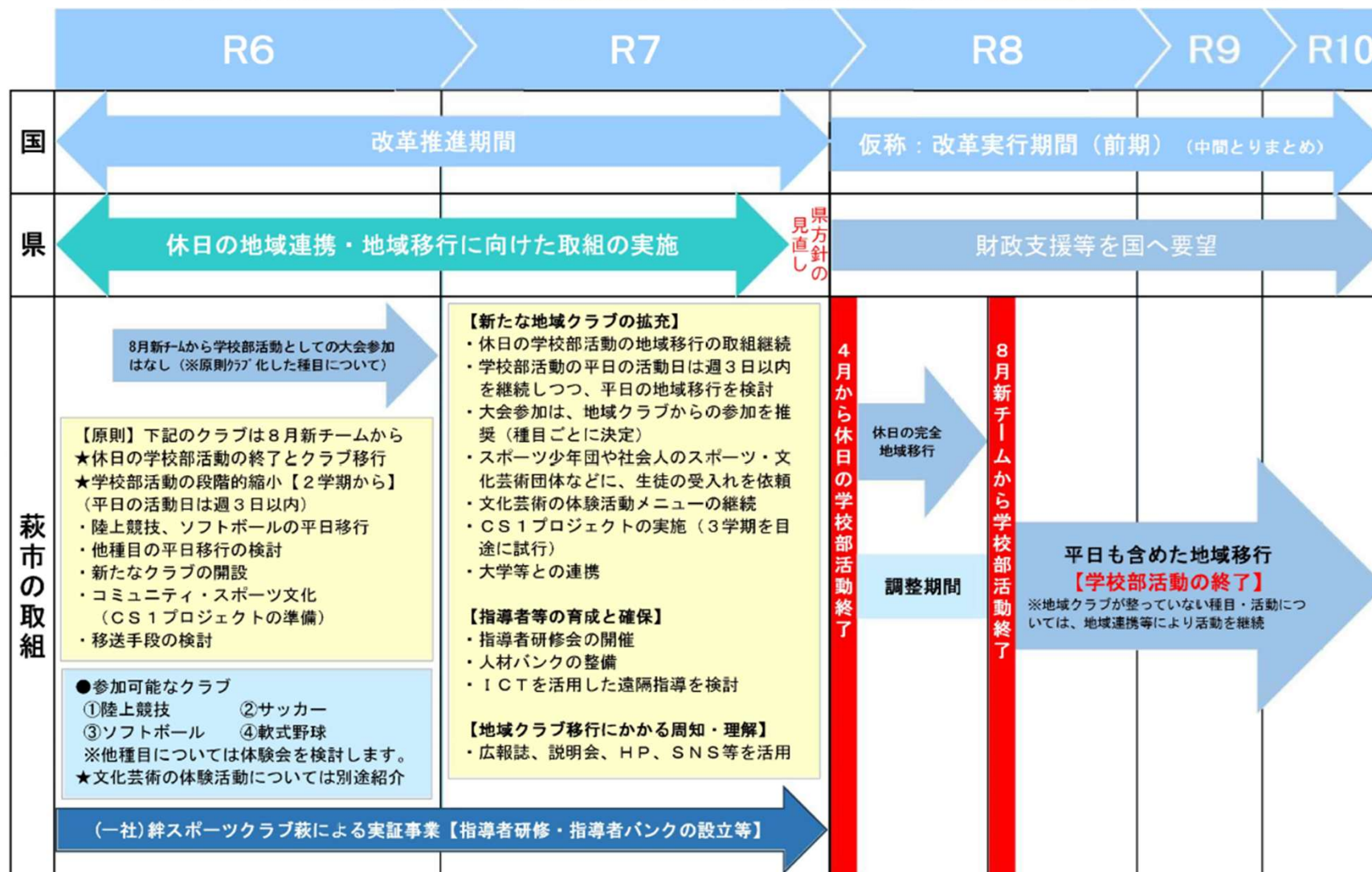


3.今後の方向性② (スケジュール見直し)



地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ（第9回 部活動改革推進会議以降変更）

萩市における中学校部活動の地域移行（一部地域連携を含む）にかかる改革のスケジュール



3.今後の方向性③ (目指す姿)

萩市が考える新たな活動の場のイメージ

～地域移行から地域展開へ～



(ハギ スター プログラム) HAGI ☆ STAR PROGRAM

〔HAGI ☆ STAR PROGRAM とは〕

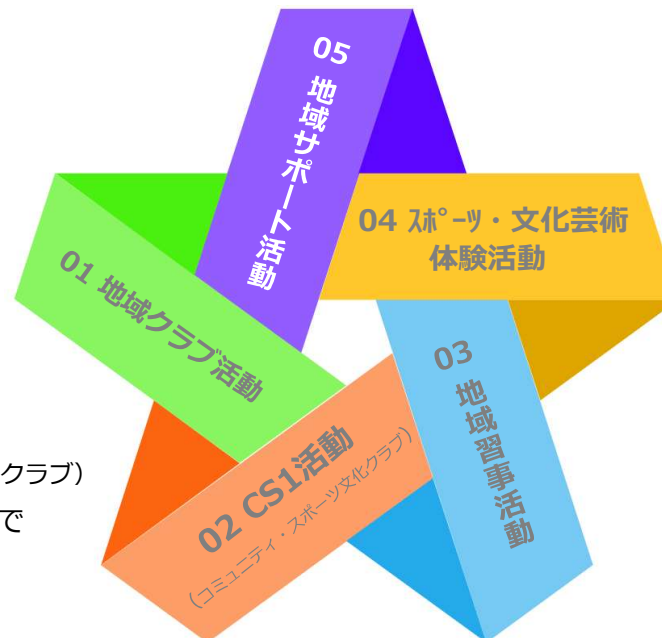
様々なスポーツ・文化芸術活動を通じて、子どもたち一人ひとりが生涯にわたって、星のように輝くことができるよう「地域全体」でサポートする仕組みです。

〔HAGI ☆ STAR PROGRAM コンセプト〕

- ★部活動に無かった新種目や気軽に取り組める活動など、多様な活動を確保し、ニーズに合った活動の場を「地域全体」で提供します。
- ★持続可能なスポーツ・文化芸術活動を構築し「地域全体」で未来に繋いでいきます。
- ★「地域全体」で子どもたちの挑戦を支え、子どもたちを育てます。

01 | 地域クラブ活動
従来の学校の部活動に
変わる新たな活動の場

02 | CS1活動
(コミュニティ・スポーツ文化クラブ)
生徒の活動を各中学校区で
支える活動の場



05 | 地域サポート活動
地域のサークルや団体、学生など多様な
地域住民がサポートする活動の場

04 | スポーツ・文化芸術 体験活動
興味・関心・意欲向上を 目的

03 | 地域習事活動
従来からある地域の習い事